

埼玉医科大学病院ニュース

第 85 号



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2

座右の銘

消化器・一般外科診療部長紹介

消化器・一般外科 診療部長 浅野 博

ページ 3～4

私たち（診療科全体）が大切にしていること
こんな症状ありませんか？

ページ 5～6

診療科メンバー紹介

ページ 7

小児・思春期・若年成人（CAYA）スマート
センター開設のお知らせ

ページ 8

妊娠と薬外来

ページ 9

アスリート通信

埼玉医科大学グループ アスリートクラブ

ページ 10

第 15 回 市民公開講座

栄養部（令和 8 年度保健所長表彰受賞のお知らせ）

ページ 11

通院サポートアプリ（life マークコンシェルジュ）

ページ 12

基本理念

外来受診のご案内

新型コロナウイルス感染症に対する対応

外来駐車場のご案内



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS



消化器・一般外科 診療部長

あさの ひろし
浅野 博

プロフィール
埼玉県出身
埼玉医科大学卒業
日本外科学会専門医、日本消化器外科専門医、
日本大腸肛門病学会専門医、日本内視鏡外科学
会技術認定医

医師として大切にしていること

外科医というと手術の技術が重要と思われがちですが、どれほど優れた治療法であっても、それが患者さんの希望や生活、価値観に合っていないければ最善とは言えません。病気だけを見るのではなく、患者さん一人ひとりの背景や思いにも目を向けることを常に心掛けています。

当科では、胆石症や鼠径ヘルニア、虫垂炎、腸閉塞などの良性疾患を中心に診療しています。良性疾患は生命に直接関わるものではないこともあり、必ずしも手術が最善の選択となるわけではありません。症状をコントロールしながら経過をみるのが適切な場合もあり、患者さんの生活背景やご希望を十分に伺い、一人ひとりに合った治療方針を提案することを大切にしています。

診療では、患者さんやご家族との対話を何より大切にしています。医療は専門的な内容が多く、不安や疑問を抱えたまま治療を受ける方も少なくありま

せん。そのため、できる限り分かりやすい言葉で説明し、病状や治療内容を十分に理解し、納得していただいたうえで治療方針を決定するよう努めています。

医療技術は日々進歩していますが、患者さんに誠実に向き合う姿勢は決して変わることのない医療の原点です。これからも患者さんにご家族の思いに耳を傾け、安全で質の高い医療を提供し、地域の皆さまから信頼される診療を続けてまいります。

私たち（診療科全体）が大切にしていること

消化器・一般外科では、胃や大腸などの消化器疾患をはじめ、胆石症や虫垂炎、鼠径ヘルニアなどの良性疾患、甲状腺疾患、腹壁疾患など、幅広い外科診療を担当しています。

私たちが目指しているのは、単に手術を行うことではありません。患者さんが安心して治療を受け、できるだけ早く日常生活へ戻ることができるよう支援することです。そのため、外科医だけでなく、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフなど多職種が連携し、それぞれの専門性を生かしながら術前から術後まで患者さんを支えています。

大学病院には高度な医療を提供する役割とともに、地域医療を支える使命があります。当科では、夜間や休日を含め救急患者さんの受け入れにも積極的に取り組み、緊急手術が必要な患者さんに迅速に対応できる体制を整えています。

さらに、地域の医療機関との連携も大切にしています。患者さんをご紹介いただいた先生方と密接に情報を共有し、診断から治療、術後のフォローアップまで切れ目のない医療を提供できるよう努めています。大学病院ならではの専門性を生かしながら、地域の先生方と協力して患者さんを支えることが私たちの重要な役割です。

私たちは、医療技術の向上に終わりはないと考えています。より良い医療を提供するため、診療だけでなく教育や研究にも積極的に取り組み、常に知識と技術の研鑽を続けています。

医療は人と人との信頼関係の上に成り立つものです。患者さん、ご家族、そして地域の医療機関の皆さまから信頼され、「ここに来てよかった」と感じていただける診療科であり続けられるよう、これからもスタッフ一丸となって安全で質の高い医療の提供に努めてまいります。

こんな症状ありませんか

みぞおちが痛くなる

みぞおちが痛くなることを医学的に心窩部痛といいます。「胃が痛い」と訴えて病院を受診されることが多く、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃癌など胃に関連する疾患で見られる症状です。しかし、胃以外の疾患でも心窩部痛は見られます。胆汁をためておく胆嚢内に石ができる胆石症も食後の心窩部痛が典型的な症状です。また急性虫垂炎の初期症状としても心窩部痛を生じることがあります。

おなかの一部が膨らんでいる

足の付け根や昔手術した傷跡、おへそが膨らんでいるなどの場合、ヘルニアの可能性があります。腹壁ヘルニアは腹壁の弱いところから内臓が皮下に脱出しふくらみが生じる疾患です。立つとふくらみ横になると平らに戻るのが典型的な症状です。治療法は自然に治ることはなく手術で穴をふさぎます。しかしふくらみが気にならないようであれば経過観察も可能です。膨らみに痛みなどの症状を伴うときはすぐに横になってふくらみを戻すようにしてください。膨らむたびに痛みを伴うようであれば手術をお勧めします。



カンファレンス

肛門から何か出ている

内痔核、直腸脱、肛門ポリープ、肛門皮垂などの疾患が考えられます。内痔核は肛門に近い直腸粘膜下の静脈がうっ血してできた、イボ状の腫れのことをいいます。内痔核には痛みを感じる神経はないため通常は無症状ですが、肛門から脱出し炎症を起こすと痛みをともなうようになります。また似たような病変で肛門ポリープがありますが、これは肛門の皮膚と直腸粘膜の境界にできたイボのような突起物です。肛門ポリープは皮膚にできるため排便時に引っ張られると痛みを伴うことがあります。さらに直腸脱は直腸全体が脱出する疾患です。高齢の女性に多い疾患ですが、若年者でも高度の便秘などによる排便障害によって発症することがあります。これらの疾患は必ずしも手術が必要な疾患ではありませんが症状を緩和するために手術が必要となることがあります。

こんな治療を行っています

消化器がん

消化器一般外科のがん治療については2007年に開院した埼玉医科大学国際医療センターに移動しております。しかし、他の疾患で通院中であるなど当院での治療を希望される場合はご相談ください。がん治療については患者さんごとの病状に応じて、手術だけでなく化学療法などを組み合わせた集学的治療にも取り組んでいます。

救急外科診療

急激な腹痛を伴い緊急手術の必要性を判断すべき疾患群を急性腹症といいます。対象疾患として虫垂炎や消化管穿孔、腸閉塞、胆嚢炎などがあります。当科は急性腹症に対する診断治療において経験が豊富な外科医が多数おり適切な治療法の判断や治療を提供いたします。腹部の救急疾患においては手術以外に救命することができない疾患もありますが、病状によっては緊急手術を避けるべき疾患もあります。内科医と連携し適切な治療法を提案いたします。

鏡視下手術

鏡視下手術は5-10mm程度の穴を数か所あけ、そこからカメラを挿入して行う手術です。一つ一つの傷口が小さいため痛みが少なく、傷も目立ちにくいというメリットがあります。さまざまな領域で鏡視下手術が導入されており、腹部の手術においては腹腔内に挿入するため腹腔鏡手術とも呼ばれます。当院でもさまざまな疾患において鏡視下手術を行っています。特に救急疾患においても積極的に導入しております。しかしすべての手術で行えるわけではありません。過去の手術によって癒着がある場合は適応とならないことがあります。また開腹手術と比較して手術時間は長くなるため心肺機能が低下している場合などでは安全性を優先して開腹手術を選択することもあります。



若手外科医への指導

消化器・一般外科医師、看護師、医療スタッフが一丸となり、患者さんに寄り添った医療を提供しています。

診療科メンバー紹介



篠塚 望（しのづか のぞみ）

病院長 教授

診療科メンバー紹介専門分野：消化器一般外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医

患者さんや地域医療にとっての最後の砦として、その役目を果たしていきます



浅野 博（あさの ひろし）

診療部長 教授

専門分野：消化器一般外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、

日本大腸肛門病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医

わかりやすい説明と患者さんにとって最善の治療を提供できるよう努めています



伏島雄輔（ふせじま ゆうすけ）

副診療部長 助教

専門分野：消化器一般外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

患者さんと家族それぞれの状況に応じた最良の方法を提案できるように心がけています



高木 誠（たかぎ まこと）

外来医長 助教

専門分野：消化器一般外科、甲状腺外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医

常に患者さんの立場に立ち、「自分の家族にも進められる治療」を基準に診療しています。



高山哲嘉（たかやま てつよし）

医局長 助教

専門分野：消化器一般外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医

患者さんの真の要望に答えるべく、最善の治療を提案できるよう努めてまいります



鈴木将臣（すずき まさおみ）

助教

専門分野：消化器一般外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医

日々すべての病める人に満足度の高い医療を行うよう心がけています。



金晟徹（きむ そんちよる）

助教

専門分野：消化器一般外科

資格（専門医等）：日本外科学会専門医



齋藤菜子（さいとう なこ）

助教

専門分野：消化器一般外科

患者さんが安心してご自宅に帰れるよう、日々の手術トレーニングと学問の研鑽を大切にしています。



2026 年集合写真

小児・思春期・ 若年成人（CAYA） スマートセンター 開設のお知らせ

小児・思春期・若年成人
（CAYA）スマートセンター長
菊池 透

CAYA スマートセンターの開設の目的は、CAYA 肥満へ、適切な指導・医療の提供をすること。そして、全国の CAYA 肥満診療のお手本になるように、指導・診療方法を向上させることです。また、CAYA スマートセンターの診療目標は、肥満を改善するだけではありません。CAYA 肥満の皆さんが、自分自身に自信を持てるように支援することも目標にしております。

CAYA スマートセンターの診療は、大学病院東館 1 階、こどもセンター内で土曜日を中心に、月 2 回程度行っております。看護師→医師→管理栄養士という流れで、食事・運動・生活リズムなどの生活指導を、独自に開発した行動療法ツール「SMU スマートダイアリー」を用いて指導・診療しております。今後は、薬物療法も進める予定です。現在は、小児科医師、内分泌糖尿病内科医師が診療しておりますが、関連する診療科にも相談しながら、診療を拡大していきます。また、診療日も増やし、できるだけ多くの CAYA 肥満診療を受け入れていく予定です。また、埼玉医科大学グループやその他の施設からの見学者も受け入れて、CAYA 肥満診療の普及に貢献したいと思っております。

2026 年 4 月 11 日、大学病院に「小児・思春期・若年成人（CAYA）スマートセンター」を開設しました。CAYA スマートセンターは、小児・思春期・若年成人肥満（CAYA 肥満）への包括的な肥満診療を提供する、国内で最初の診療センターです。肥満は、個人の生活習慣だけの問題ではなく、体質や社会、学校、家庭などの環境など、個人の努力だけでは解決できない問題をお持ちの方が少なくありません。CAYA 肥満は、自然に改善するということは少なく、医療として指導・治療が必要な場合が少なくありません。これまでは、こどもセンターで、小児・思春期肥満の指導・治療を担当してまいりましたが、若年成人肥満への診療も含め、CAYA スマートセンターを開設いたしました。



妊娠と薬外来

～妊婦・授乳婦薬物療法認定
/ 専門薬剤師の関わり～

薬剤部 妊婦・授乳婦
薬物療法認定薬剤師

児嶋 眞子

妊娠中や妊娠を希望される方にとって、「この薬を飲み続けて大丈夫だろうか」「赤ちゃんへの影響はないだろうか」といった不安を抱くことは少なくありません。一方で、自己判断による服薬中断は、母体の病状を悪化させ、かえって妊娠や胎児に影響を及ぼす可能性もあります。

当院の「妊娠と薬外来」は国立成育医療研究センターの「妊娠と薬情報センター」の拠点病院として、患者さんやご家族の不安に寄り添いながら、科学的根拠に基づいた情報提供を行っています。妊娠中・授乳中の薬物治療について、現在の病状や服用薬、妊娠週数などを総合的に評価し、一人ひとりに合わせた相談対応を行っています。

この外来の大きな特徴は、専門的な知識と豊富な経験を有する産婦人科医と薬剤師が連携して対応していることです。担当する薬剤師の中には、日本病院薬剤師会認定の妊婦・授乳婦薬物療法認定 / 専門薬剤師の資格を取得している薬剤師も在籍しており、最新の医学・薬学的知見に基づいた適切な



アドバイスをしています。また、医師や助産師をはじめとする多職種と密接に連携し、患者さんが安心して妊娠と薬物療法を両立できるよう支援しています。

妊娠と薬の分野は、日々新しい知見が蓄積される高度な専門領域です。担当者は認定資格の取得にとどまらず、継続的な研鑽を重ねながら質の高い医療の提供に努めています。当院ではこの分野の専門性をさらに追究し、学術活動にも積極的に取り組み学会発表や論文執筆、専門書の執筆協力などを通じて、全国へ向けて情報を発信し妊娠・授乳期医療全体の発展にも貢献しています。

「妊娠と薬外来」は、単なる服薬相談の場ではありません。高度な専門知識と豊富な経験を有する医師・薬剤師が、患者さん一人ひとりの不安に寄り添い、安全で適切な薬物療法を支える専門外来です。これからも患者さんが安心して妊娠・出産・育児を迎えられるよう、多職種と連携しながら質の高い医療の提供に努めてまいります。

* 妊娠と薬外来予約手順 *

完全事前予約制で祝日以外の水曜日 16 時から相談に応じています。あらかじめ、Web 問診票を登録していただき、受診日を電話予約（平日午後 :049-276-1297）いただきます。当日は本人だけでなく、ご家族の同席も可能です。自費診療で、Web 問診作成に 1,100 円、相談時に埼玉県内在住の方は 3,300 円、県外の方は 11,000 円費用が発生します。

当院以外での出産を考えている方の相談にも応じています。
どうぞご利用ください。



←受診までの流れ

アスリート通信

埼玉医科大学グループ
アスリートクラブ

第 68 回 東日本実業団陸上 競技選手権大会

2026 年 5 月 15 日 (金)
～ 17 日 (日)

埼玉医科大学アスリートクラブ
(<http://www.smu-athlete.jp>)

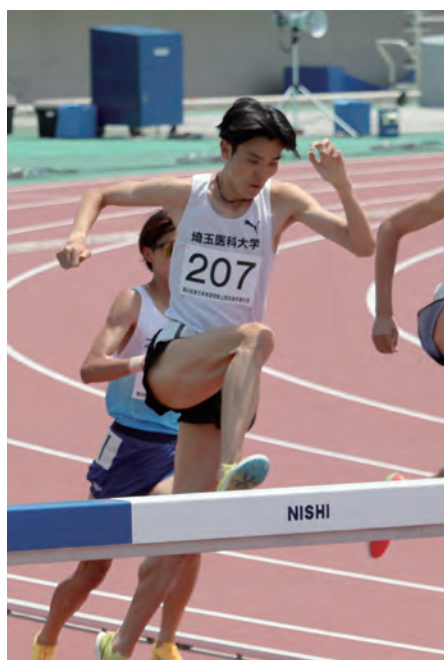
平素よりアスリートクラブの活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。2026 年 5 月 15 日 (金)～17 日 (日) に ND ソフトスタジアム山形 (山形県天童市) で東日本実業団陸上競技選手権大会が開催されました。本学アスリートクラブからは、トラック・フィールド競技合わせて以下の 14 名の選手が出場し、各自の目標に向けて全力でレース試技に臨みました。今後は夏の合宿を経て沢山練習を積み、秋以降に開催される予選会を勝ち進み、ニューイヤー駅伝・プリンセス駅伝出場を目指してまいります。応援よろしくお願いいたします！



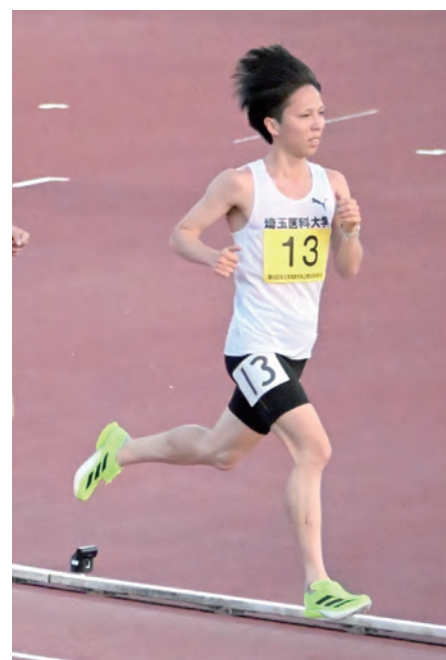
吉田選手



小澤選手



中園選手



分須選手

第 15 回 大学病院市民公開講座

実施日：2026 年 7 月 11 日（土）

場 所：坂戸市文化会館 ふれあ

2026 年 7 月 11 日（土）坂戸市文化会館ふれあにて、市民公開講座を開催いたしました。今回のテーマは「“関節リウマチ”と“キズ”の治療」となり、第 1 部ではリウマチ膠原病科 荒木教授より関節リウマチの診断と治療、中央治療センター 竹田看護師より自宅で出来る自己注射のお話、第 2 部では形成外科 市岡教授よりキズの正しい治し方、皮膚科 森内看護師より自分で出来るフットケアについて講演いただきました。約 2 時間半の講演でしたが、参加者の皆様はいずれの講義も興味深く聴講されており、リウマチとキズについてより理解を深められたことと思います。今後も様々な内容で講座を開く予定ですので、興味のある方は是非ご参加ください。



埼玉県坂戸保健所長 食品衛生優秀施設表彰

栄養部 部長 平野 孝則

坂戸保健所より令和 8 年 6 月 1 日付で埼玉医科大学病院が標記表彰を戴きました。

これは、給食施設として長年にわたり HACCP（ハサップ：危害要因分析重要管理点）に基づく食品衛生管理が優秀であると認められたものです。

これもひとえに丸木理事長先生、篠塚病院長先生のご理解と共に日頃より衛生管理にご協力を戴いております病院関連部門の方々のお陰と感謝申し上げます。

当院は埼玉医科大学グループにおいて唯一直営で運営しております。日頃から食の安全を大優先に取り組む栄養部スタッフの姿勢が評価されたものと考えます。

今後とも、この賞に恥じないよう継続して食品衛生の向上に努めてまいります。



スムーズな通院をサポートする 通院サポートアプリ

『HOPE LifeMark-コンシェルジュ』

▼ iOS



▼ Android



もしくはApp StoreまたはGoogle Playにて「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」を検索し、インストールをお願いします。

HOPE LifeMark-コンシェルジュ

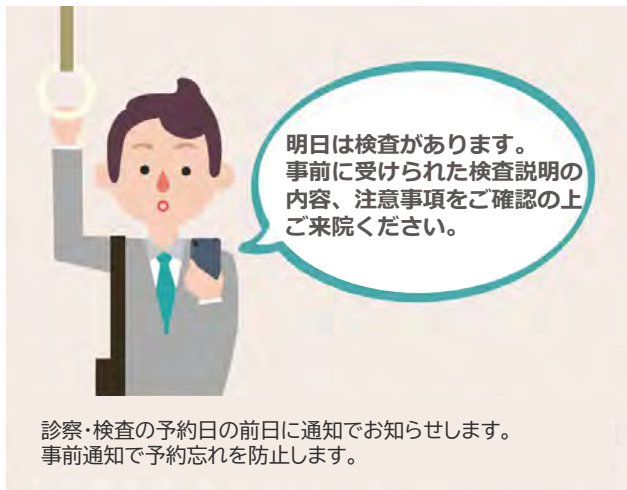
検索

※本サービスをご利用いただくためには、「HOPE LifeMark-コンシェルジュ」のアプリケーションをスマートフォンにインストールする必要があります。

※AppleおよびAppleロゴは、Apple Inc.の商標です。AppStoreはApple Inc.のサービスマークです。
※GooglePlayおよびGooglePlayロゴは、Google LLCの商標です。



事前通知で予約忘れ防止



待ち時間を快適に過ごす



スマホを持たない家族も利用可能



アプリでらくらく予約変更 ※一部診療科限定



ご利用登録は本館 1 階
【登録窓口】へお声がけください。



埼玉医科大学病院

－基本理念－ 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

外来受診のご案内

診療日 月曜日～土曜日

休診日 日・祝日、年末年始（12/29～1/3）

診察時間 9:00～17:00

受付時間 8:30～17:00（初診の方 8:30～11:00、12:30～14:00（土曜日を除く）※）
※紹介状をお持ちの方のみ（一部診療科は除く）になります。

紹介状をお持ちの方は、事前に予約センターで電話予約をしたうえでご来院ください。

電話番号 049-276-1179

受付時間 8:30～17:00（月曜日～土曜日（日・祝日を除く））

新型コロナウイルス感染症に対する対応

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、医療機関では高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まるため、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められています。

来院される際には今まで通り**手指衛生の実施**をお願い致します。

最新の情報を元に、より良い感染対策を考え、患者さんに安心できる医療を提供できるようにこれからも取り組んでまいります。

駐車場のご案内

構内有料 駐車場

A 駐車場（障害者専用）、
B 駐車場、C 駐車場、
1ビル前駐車場（障害者専用）

→外来患者さんが最優先で駐車可能です。

構外提携 有料駐車場

上記以外のD-Parking
（白い看板）

→外来患者さんとお見舞いの方用になります。

検印

第1ビル駐車場管理室
本館1階整備センター

障害者手帳の交付を受けている方は、駐車券を手帳と一緒に割引処理窓口にご提出下さい。駐車料金が無料となります。



埼玉医科大学病院ニュース 第85号

発行日 2026年8月1日

発行責任者 病院長 篠塚 望

編集発行 埼玉医科大学病院 病院広報戦略室

TEL 049(276)1121

FAX 049(294)8222

www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

